



株式会社
加悦ファーマーズライス

平成 11 年 7 月、冷凍による米の高付加価値化商品を開発し、産業化を図るため整備された「冷凍米飯加工施設」の管理運営を主な目的として、旧加悦町の第三セクターとして設立された会社。

100% 与謝野町産米を使用した「丹後のはばらすし」「焼き鯛寿司」などの自社ブランド商品を製造。近畿圏内の高速道路のサービスエリアや百貨店、自社店舗などをつうじて、全国に「与謝野町のおいしい」を届けている。



写真上・下／株式会社ファーマーズライス
ホームページから引用

「いいかな」などと対応に迷うことがあります。そんなときは、障害者就業・生活支援センターに相談をしながら、会社でサポートすること、障害者就業・支援センターがサポートすることを決めています。

会社では採用の際に、障害者雇用の募集を出しているのではなく、障

害の有無で判断することもあります。任された仕事をしっかりとくれる方なら誰でも大丈夫です。一番大事なのは「やろうとする気持ちを持つてくれていること」です。そして、仕事を長く続けてもらつて熟練者になつてくれるといなと思っています。

「働きたい」をサポートします

まずは一緒に
働いてみませんか？

興味のある方は、
お気軽にご相談ください

サポートが必要な方や企業の方は、どちらもどうしたら良いか不安を感じておられるかもしれません。そんな方々をサポートするため、与謝野町には「職場実習奨励金制度」があります。職場実習をとおして実際に一緒に働いてみることで、お互いに不安が軽くなるかもしれません。

同制度は、障害者手帳をお持ちで、障害者福祉施設などの職員に実習中のサポートに入つてもらえる方が対象です。対象の方が実習をする場合、実習受入事業所と障害者福祉施設に実習奨励金を支給します。お気軽に役場福祉課までお問い合わせください。

障害者・就業生活支援センターこまち（京丹後市大宮町周辺 1 の 1)
0772・68・0005

株式会社 加悦ファーマーズライス 勤務

おおたに まさる
大谷 勝さん (40)

明石在住。趣味はドライブ。



— Special Interview —

挑戦することが大切

就労訓練を受け、町内の企業に就職した大谷さん。仕事のやりがいやこれからの目標などを伺いました。

—— 働いてみてどうでしたか。
わたし担当しているのは、丹後の「ばらすし」の「そぼろ作り」です。そぼろ作りにはいろいろな工程がありますが、工程があるからこそやりがいを感じます。良い状態に作れたときはうれしいです。

—— 仕事を続けるコツはありますか。
仕事を始めたときは失敗することもありましたが、失敗しても気持ちを切り替えて仕事をしています。失敗を引きずっていると、また失敗してしまうので、考えすぎないようにしています。

—— これから目標はありますか。
お店に行ったとき、自分が作った商品が並んでいるのを見るとそれなります。これからもこの仕事を続けていき、もっとさまざまな工程にもかかわってみたいと思います。

—— これから就職する方へのメッセージをお願いします。
まずは挑戦すること。どんな仕事を失敗することがあるかもしれません。が、やってみないとわかりません。皆さんも挑戦してほしいです。

—— やろうとする気持ちを持つてほしい

—— 大谷さんの上司の方に伺いました。
会社には、大谷さんのおかにも障害者雇用の方がいますが、障害者がいるからといって特別な配慮をしていません。今では、一人で作業を進めてくれますし、どんなこともすぐになりました。これからもこの仕事を続けていき、もっとさまざまな工程にもかかわってみたいと思います。

—— そうはいつても時々「ちょっと言ひ過ぎたかな」「その人の負担にならない」ということが大事なことだと考えていました。

—— これはいつでも時々「ちょっと言ひ過ぎたかな」「その人の負担にならない」ということが大事なことだと考えていました。

※ 企業などへの雇用または在宅就労が見込まれる障害者（65 歳未満）に対し、就労に必要な訓練。サービス提供期間は 2 年以内。